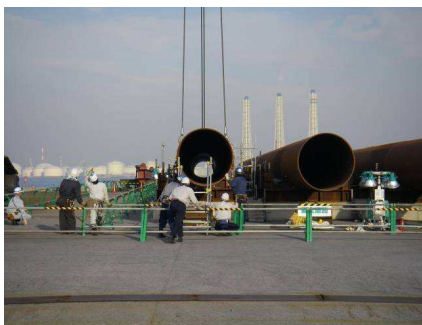


平成19年11月26日 基礎杭一本化製作ヤード

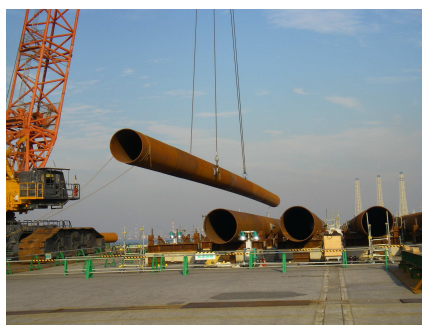
栈橋部は、海中に打設した鋼管杭、その上に据え付けられた鋼製のジャケット及びジャケット上部桁上に敷設されたコンクリート床版と舗装で構成されます。

鋼管杭については、上に据え付けられるジャケットを支えることのできる頑丈な地盤まで打設する必要があるため、約90mにも及ぶ長さが必要です。そこで、製造メーカーによって製造された素管（約30m）を、千葉県袖ヶ浦にある一本化工場に海上運搬し、工場にて3本を1組として溶接により一本化しました。18mm～38mmという厚い鋼材で、人の身長ほどもある太さ（杭径1600mm）に製作された鋼管杭が、吊り上げられると百数十mmもたわみ、改めてその長さには驚きを感じえません。

完成した鋼管杭は、岸壁から台船に積み込み、羽田海域へ海上運搬し、平成19年12月8日より現地にて打設されます。



一本杭吊り上げ準備



750t吊クレーンによる一本杭吊り上げ状況



750t吊クレーンによる一本杭吊り上げ状況



750t吊クレーンによる一本杭吊り上げ状況